

清二中にやってきた昆虫たち 1 蝶

R2,7,23

広い敷地に2階建ての南校舎と3階建ての北校舎そして植えられた木々は剪定された清二中は、割と日当たりの良い場所が多く、校舎まわりには野草が多くはえていて、森林系おりも草原系の動植物が多いのかもしれませんが。動物はそれぞれ住家や食性などがあり、どんな環境で生活するかが、ほぼ決まっていますからね。学校によくやってくるヤマトシジミの幼虫は、カタバミを好みますし、ヒメアカタテハは、ハハコグサやヨモギ、キク科の植物を好みます。ですから、アゲハを呼びたいければサンショウやカラタチ、キンカンなどの柑橘系の木を、キアゲハならアシタバやフェネルといったセリ科の植物を植えるとよいと思います。



ヤマトシジミ

ヤマトシジミ (シジミチョウ科)

同じ名前の貝がいますが、もともとシジミチョウ科の蝶は、羽の形や模様などがシジミ貝に似ていることから名づけられたのですから、納得です。

1 cm~1.5cm ほどの小型の蝶で、カタバミの葉に卵を産み、卵で1週間幼虫で2週間、さなぎで1週間、成虫で2週間ほどの一生で、シーズンで5~6世代を繰り返します。

ゴーヤ (ツルレイシ) の花が好きなの？



ヒメアカタテハ (タテハチョウ科)

タテハチョウが清二中にやってきました。何という種類かと調べてみると、たぶんヒメアカタテハという種類だと思います。採集をして図鑑で各特徴を比較したわけではなく、ネット図鑑で写真を比べただけなので、確かではありません。違っているかも？

インターネットのデジタル図鑑などでの検索は簡単で使い勝手がよいのですが、ちゃんと調べようとするとやはり図鑑本が必要になります。見た目や色などが似ている種類が沢山あります。写真や挿絵だけではなく、特徴を描いたスケッチとの比較が必要ですね。



■タテハチョウの足を数えてみると 1,2,3 えっ？ 4本しかない！

図鑑で見ると、足が4本しか描かれていません。写真をよく見るとやはり4本？ 理科の授業では昆虫の体のつくりの特徴として、頭部・胸部・腹部の3つに分かれ、足は胸部より6本と教わるのですが…

通常チョウも足は確かに6本あります。しかしタテハチョウの仲間は4本しか見えないように見えます。その理由を蝶に尋ねても当たり前ですが教えてくれません。想像するしかありませんね？

あるのか？ 無くなったのか？ もともと無いのか？ その理由は何か？ なんで？と思ったら、ネットで調べると色々でていますが、**その前にまずは自分で推論してみましょね。**

【関連授業】 2年単元2動物の生活と生物の変遷

【関連動画・サイト】

①背骨を持たない節足動物 (動画 NHK for school) 1分14秒

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401186_00000

②蝶の図鑑 (個人サイト)

<https://www.j-nature.jp/butterfly/>

a ヤマトシジミ (動画 YouTube)

https://www.youtube.com/watch?v=3gwXVpln_AU&feature=youtu.be

b ヒメアカタテハ (動画 YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=qaxB2AG38sw&feature=youtu.be>

